

質問区分	福祉・保健	議員名	まつだ <small>まつだ</small> おう 松田鳳羽議員
発言順(通し番号)	NO : 1	所管課・室名	介護保険課

質問事項	介護保険・健康予防について
具体的な内容 (質問取り事項)	介護給付費の抑制と市民が運動する機会が少ないことから、市営で気軽に利用できるトレーニングルームの設置を提案する。

【市長答弁】

まつだ
松田議員の質問にお答えします。

議員ご指摘のとおり介護保険給付額は、年々増加をしております。介護給付費の増加抑制は大きな課題となっております。

市では、課題解決に向けて市民の皆様一人ひとりが地域で健康に生き生きと暮らすことができるよう「健康長寿のまちづくり」を重点施策に掲げ、「健康寿命日本一」を目指し、健康づくり事業や介護予防事業に取り組んでいるところです。

市民の運動する機会が少ない、運動施設も少ない中、気軽に利用できる市営のトレーニングルーム設置のご提案ですが、現在市施設においてトレーニングルームが利用可能な施設は、三郷文化公園体育館のみとなっております。

機器も大変古いため、利用者が少なく、指導者の常駐もない状況です。

トレーニングルームには、効果的なトレーニング方法や安全面からも適切に指導することが必要となってきます。

これらの点や市民の皆様の意見を考慮しながら、市では、現在進めております、新総合体育館の具体的な整備計画の中で、トレーニングルーム設置についての検討を進めております。

市民の皆さんが、生涯にわたりスポーツに親しみ、楽しめるようにして行きたいと考えます。

また、安曇野市から、全国、世界へ羽ばたく選手が育つことを、期待し応援して行きたいと思えます。

健康づくり事業や介護予防事業の詳細な取り組みにつきましては、担当部長よりお答えいたします。

質問区分	福祉・保健	議員名	てらしまはるか 寺島遥夏議員
発言順(通し番号)	NO : 2	所管課・室名	福祉課

質問事項	障がい者福祉について
具体的な内容 (質問取り事項)	障がい者との交流の場を増やす。

【市長答弁】

続きまして^{てらしま}寺島議員の質問にお答えします。

安曇野市では、障害者基本計画及び障害福祉計画を策定し、障害のある人もない人も、社会の一員として、お互いに尊重し、ささえあいながら、地域で共に生活する社会の実現を目指して、障がい者施策を推進しています。

ご指摘のとおり、障がいのある人とない人がもっと知り合える機会、交流の場を増やしていくことは、お互いを理解するうえで、必要なことだと考えます。

市は、9月にリオデジャネイロで開催されたパラリンピック競技大会に出場し、入賞を果たした樋口政幸選手を応援しております。

11月8日には、豊科北中学校で樋口選手による講演が行われました。樋口選手は、車いすでの生活を余儀なくされましたが、努力を重ね世界のトップレベルの選手として活躍をされています。

講演を通じて、障がいのある人や障がいのことを少しでも知ることができたのではないかと思います。

障がい者団体や施設等で行われるイベントへの市民参加の促進などにより、障がいのあるなしにかかわらず、さまざまな人

たちの交流機会の創出に努め、障がい及び障がいのある人に対する理解の促進を図り、安心して生活できるまちを今後も実践していきます。

質問区分	福祉・保健	議員名	うちやまここの 内山心乃議員
発言順(通し番号)	NO : 3	所管課・室名	長寿社会課

質問事項	地域福祉について
具体的な内容 (質問取り事項)	高齢者のための行事づくり・若者との交流

【市長答弁】

続いて、^{うちやま}内山議員のご質問にお答えします。

市の人口のうち 65 歳以上の方が占める割合を高齢化率といいますが、安曇野市の場合、10 月 1 日現在 29.64%となっており、超高齢化社会をむかえております。

ご提案いただきました、高齢者が興味を持ってもらえる行事づくりは、市が進める「健康長寿のまちづくり」の中で重要な施策であると考えており、現在実施している行事のほかに、今後も生きがいをもって取り組める事業を実施していきます。

また、若い世代との交流についてですが、議員おっしゃるとおり、高齢者と若者の異世代交流は、高齢者にとって心理面、身体面において良い効果をもたらす、認知機能の低下予防にもつながると言われていますので、高齢者と若者が交流できる行事を増やしていきたいと思っております。

いずれにしても、高齢者の方の意見をしっかりと聞いて、高齢者の皆さんが輝く場を用意したいと思っておりますので、皆さんも積極的にご参加をお願いします。

質問区分	福祉・保健	議員名	まつだおう 松田鳳羽議員
発言順(通し番号)	NO : 1	所管課・室名	介護保険課

質問事項	介護保険・健康予防について
具体的な内容 (質問取り事項)	介護給付費の抑制と市民が運動する機会が少ないことから、市営で気軽に利用できるトレーニングルームの設置を提案する。

【保健医療部長答弁】

まつだ
松田議員の質問にお答えします。

先程市長がお答えいたしました、介護保険給付費は年々増加傾向にあり平成18年度が約48億4千9百万円、平成27年度が約76億4千4百万円であり、この9年間で約1.6倍に増加をしております。

介護給付費の増加抑制は市が抱えている課題の一つでもありますので、市民の健康づくりや介護予防といったことは大変重要であると認識しております。

運動や体を動かすことは、介護予防として高齢期の運動機能や認知機能の低下防止に関連するだけでなく、生活習慣病予防にも関係していることが明らかとなっております。

「健康寿命日本一」の実現のためには、多くの方が若いころから日常生活の中で運動を実施していただくことが必要となります。

そのため、議員ご指摘の通り、身近な場所で運動できる施設整備等のハード面の環境を整えることは重要なことととらえております。また併せて、気軽にできる運動の普及などのソフト面の充実も必要なこととなっております。

健康づくり活動や介護予防活動を自主的に行うグループへの支援や市内にある運動のできる施設やウォーキングコースの周知を図るとともに、

個人の生活に合った運動習慣の普及を図りたいと考えます。

運動を通しての仲間づくりは、年齢に関係なく、そして世代を超えて、大きな意味を持つものと思います。年齢を重ね高齢となっても、住み慣れた地域で生き生きと暮らすことができるよう、仲間づくりの輪の広がりを目指し取り組んでまいりたいと思います。

【中学生議会 部長答弁様式2】福祉・保健グループ2 / 3

質問区分	中学生議会	議員名	てらしまはるか 議員 寺島遥夏
発言順(通し番号)	NO : 2	所管課・室名	福祉課

質問事項	障がい者福祉について
具体的な内容 (質問取り事項)	障がい者との交流の場を増やす。

【福祉部長答弁】

てらしま
寺島議員の質問にお答えします。

安曇野市では、2年に1回ではありますが、「地域で共に生きようフェスティバル」を開催しております。これは、交流を通じて、精神疾患や精神障がいのある方たちに対しての、誤解や偏見を除去するために実施するものです。具体的には、各種イベントの開催、障がい福祉サービス事業者で製作している物品等の販売、相談窓口の設置などです。

この取り組みは、市内の精神障がい者を主に対象としているサービス事業所や当事者、公募により申込をされた市民の方と保健師等市担当職員により、実行委員会を組織して実施しております。

また、本庁舎1階喫茶コーナー「あったカフェ」が昨年5月にオープンしました。市内の障がい者を対象とする事業所が「あったカフェ運営協議会」を設立し、運営をしております。市民や来庁者が楽しく飲食ができ、有意義な時間を過ごしていただくとともに、障がい者の就労について、理解をいただくことにつながると思います。

今後も、必要に応じて、交流の場の創出に努めたいと考えます。

質問区分	福祉・保健	議員名	うちやまここの 内山心乃議員
発言順(通し番号)	NO : 3	所管課・室名	長寿社会課

質問事項	地域福祉について
具体的な内容 (質問取り事項)	高齢者のための行事づくり・若者との交流

【福祉部長答弁】

続いて、^{うちやま}内山議員のご質問にお答えします。

現在、高齢者の生きがいつくりと仲間づくりのために、市では老人大学を開催しています。

4月から翌年の2月まで月1回のペースで開催され、趣味、グループ活動、社会見学、芸術鑑賞など多岐にわたった教室を行っており、毎年100人ほどの生徒さんが学んでおります。

これからも老人大学をより多くの高齢者の方に知っていただけるような広報活動を行い、参加者を増やすとともに内容の充実に努めてまいります。

次に若い世代との交流のご提言についてですが、現在高齢者の集いの場として、市内各地域の公民館や集会所などを使用してボランティアの方が中心となって行われているいきいきサロン事業や地域のグループで自主的に行っている健康体操事業などがあります。

このような事業に児童・生徒さんもぜひ参加していただき、高齢者と交流を図っていただきたいと思います。

また、各地区で行われている敬老会へ児童・生徒さんが参加していただいている所も多く、今まで以上のご参加を期待しています。

このような異世代間交流により、児童・生徒さんが多くの人間関係の中から様々なことを学ぶ相乗効果も期待されますので、機会をとらえて皆様もご参加くださいますようお願いをすることであります。